



1月11日、文化会館で開催された成人式には、艶やかな和服、新調したスーツに身を包んだ新成人、515人が集い、久しぶりに再会した友人との旧交を温めていました。カメラ片手にあちらこちらで歓声があがる会場の一角には、早速、「大人の権利」を行使してもらおうと、実際と同じ投票箱を使用した、本番さながらの模擬選挙を体験するコーナーも設けられ、新成人が神妙な面持ちで投票を行っていました。(下段写真左)

式典では、今年から公募した新成人あいさつを松本智聖さんが行い、両親への感謝の気持ち、これからの人生を歩む決意を力強く披露しました。その一部ではありますが、抜粋して、下記にご紹介させていただきます。新成人のみなさん、無限に広がる未来への道を、力強く、しっかりと歩んでいってくださいね。

平成21年 成人式

～はたちの誓い～



松本 智聖さん
(平成町)

「今日から大人としての責任と自覚を持って、日々精進していく事をここにお誓いいたします。

今の私達は、まだ人生の途中にあり、学生や社会人、それに親となつて、それぞれ今の自分が本当にやりたい

事に向かっているか悩み、あつという間に時間だけが過ぎていくように感じている方もおられるかと思ひます。また、小さい頃、想像していた自分を目指し頑張っている人もいれば、時の流れとともに現実を知り、今の自分にたどり着いている人もおられるかと思ひます。しかし、無駄

に過ごしたなと思う一日も、充実した一日にも意味があるはずです。

近い将来、私たちは、誰かに求められ、必要とされ、そして誰かを支えていかなければなりません。どんな時でも誰かを守る、必要とされている人は強くなれると思ひます。私達をいつも支えて守ってくれていた父と母に尊敬をし、いつもは恥ずかしくて言えない感謝の気持ちを、今日は伝えようと思ひます。ここまで大切に育ててくれた両親に『ありがとう』と、また『今日からよろしくお願ひします』と心を決めて。

これから先、たくさんの困難に遭遇し、くじけてしまう事もあるかもしれません。しかし、自分のために誰かのために考え、行動し、失敗しながら何かを学び、後悔をしても自分にとってプラスとなるように、少しずつ自分らしさを作っていきたいと思ひます。』

